

厚生文教委員会報告書

令和元年5月28日

備前市議会議長 立川 茂 殿

委員長 中西 裕 康

令和元年5月28日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	審査結果	備 考
1 福祉行政についての調査研究 ① 和気老人ホーム組合からの脱退について	継続審査	—

<報告事項>

- 公用車事故について（市民協働課）
- 生活交通チケットの利用拡大について（市民協働課）
- 土壌汚染の経過について（環境課）
- 子ども・子育て支援ニーズ調査結果報告書について（子育て支援課）
- 病児・病後児保育事業の開始について（子育て支援課）
- 香登認定こども園増築計画案について（幼児教育課）
- 公用車事故について（備前さつき苑）

《 委員会記録目次 》

招集日時・出席委員等	1
開会	2
報告事項	2
閉会中の継続調査事件	6
1. 福祉行政について	6
閉会	7

厚生文教委員会記録

招集日時	令和元年5月28日（火）		午前9時30分	
開議・閉議	午前9時30分	開会　～	午前9時58分	閉会
場所・形態	委員会室A・B	閉会中の開催		
出席委員	委員長	中西裕康	副委員長	青山孝樹
	委員	橋本逸夫		守井秀龍
		西上徳一		森本洋子
		星野和也		
欠席委員		なし		
遅参委員		なし		
早退委員		なし		
列席者等	議長	立川　茂		
	委員外議員	なし		
	紹介議員	なし		
	参考人	なし		
説明員	市民生活部長	今脇誠司	市民協働課長	杉田和也
	環境課長	久保山仁也		
	保健福祉部長 兼 福祉事務所長	山本光男	子育て支援課長	眞野なぎさ
	教育部長	田原義大	幼児教育課長	波多野靖成
	病院総括事務長 兼 吉永病院事務長	万波文雄	備前病院事務長 兼 備前さつき苑事務長	石原史章
傍聴者	議員	田口豊作	石原和人	
	報道関係	あり		
	一般傍聴	なし		
審査記録	次のとおり			

午前9時30分 開会

○中西委員長 それでは、皆さん、おはようございます。

ただいまの御出席は7名でございます。定足数に達しておりますので、これより厚生文教委員会を開会いたします。

まず初めに、市の人事異動により病院関係の説明員に変更が生じております。異動のあった説明員の御紹介をお願いいたします。

○万波病院総括事務長 病院事業で総括事務長がかわりまして、日生病院、備前病院の事務長がかわっております。

このたびは、日生病院の事務長は出席しておりませんので次回御挨拶をするとういたしまして、改めまして、このたび総括事務長を仰せつかりました万波と申します。至りませんが、精いっぱいやっていきたいと思っておりますので、何とぞよろしくをお願いいたします。

○石原備前病院事務長 失礼します。このたびの人事異動で備前病院事務長、兼ねてさつき苑事務長を拝命しました石原でございます。どうぞよろしくをお願いいたします。

○中西委員長 ありがとうございます。

本日も招集案件関係説明員、報告事項説明員のみ出席をしていただいておりますことから、一部の説明員のための御紹介ということになりました。今後の開催される委員会で新しい説明員の御紹介は随時していただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、本日の進め方についてですが、まず執行部より報告事項をお受けし、報告事項についての質疑を行った後に、レジュメにありますように、福祉行政についての調査研究を行います。また、本委員会閉会后には前回と同様に委員会提出条例についてと今後の委員会視察について御協議いただきたいと思っておりますので、お含みおきください。

それでは、議事に入ります。

***** 報告事項 *****

○中西委員長 執行部からの報告事項をお受けいたしますので、よろしくをお願いいたします。

なお、報告事項の中には来る6月定例会の議案に関する報告もございます。事前審査はできませんので、質疑の内容には御理解、御協力をお願いしたいと思います。それでは、よろしくをお願いいたします。

○杉田市民協働課長 市民協働課より2点報告させていただきます。

まず、公用車、市営バスの事故についてですが、5月22日水曜日夕方の午後5時40分ごろ、市営バス日生線福浦発片上行きの実行中にマルナカ穂浪店駐車場内にございますバス停付近におきまして一般車両との接触事故が発生しました。一般車両は、駐車場内を南から北へ移動中、市営バスは東から西へ移動中に双方が交差するところで接触事故を起こしたものです。乗員乗客につきましてですが、市営バスの乗客3名のうち1名の方が車両接触時に急ブレーキにより、前の席の手すり部分で胸を打った方がおられました。車両につきましては、市営バスはフロ

ントバンパーにこすり傷ができた程度でございますが、一般車両は右側後方に接触によるへこみ傷ができております。

事故発生後、警察による事故処理を行っていただくとともに、胸を打った乗客の方には念のために病院受診をお勧めしましたが、大丈夫とお答えになり、帰宅されております。ほかの2名の乗客の方は、その後、目的地まで送り届けております。なお、胸を打った乗客の方は68歳の女性の方で、その日のうちに連絡をとり、翌朝、改めて御自宅を訪問し、おわびするとともに、お体の状態をお聞きしたところ、痛みは和らいで問題ないとのことでした。今後も痛みがあったり、御心配でしたら病院を受診していただくようお話ししております。

現在、事故の相手方と示談交渉を進めているところでございますので、まずは御報告させていただくとともに、運行における安全確保につきまして改めて徹底してまいります。このたびは、申しわけございませんでした。

続いて2点目、生活交通チケットの利用拡大について御報告いたします。

市民協働課では、70歳以上の運転免許証を持たない高齢者の方等を対象に生活交通チケット補助事業を今年度も実施しております。チケットが利用できる公共交通機関といたしましては、制度開始時は市の指定するタクシーのみでしたが、平成30年度からは市営バス、日生定期航路での御使用をいただいております。さらにこのたび、備前市内を運行する宇野バスにおいて、片上から二ノ樋バス停の区間でも利用可能な公共交通機関の拡大の検討を行っておりまして、事業者様との協議もおおむね了承いただいております。これにより、市立備前病院を初め、伊部地区や片上地区の商業施設や医療機関等への移動について、公共交通機関の利用促進につながり、そのほかにも市営バスと宇野バスとの乗り継ぎや宇野バスとJR赤穂線、伊部駅、香登駅での乗り継ぎといった公共交通機関相互の利用促進につながることも見込みまして準備を進めております。運用開始は、本年7月からを予定しております。なお、対象者や使用方法については変更はございません。

○久保山環境課長 環境課から日本ゴア株式会社の土壌汚染の経過を報告させていただきます。

日本ゴア株式会社の敷地内からフッ素の値が環境基準を超過した件であります。

4月の厚生文教委員会で岡山県が周辺井戸水の分析調査、プレス発表した旨の報告をいたしました。その後の動きがございましたので、お知らせをいたします。

先週24日金曜日に岡山県が土壌汚染対策法に基づき、日本ゴアの敷地内の一部を要措置区域として告示をいたしました。これによりまして、今後は5年以上定期的に敷地内の地下水を採水し、モニタリングを実施していくこととなります。経過を見ながら対応をしていくということになります。

○眞野子育て支援課長 子育て支援課から2件報告させていただきます。

まず、備前市子ども・子育て支援ニーズ調査結果報告書についてでございます。

子育て支援課では、令和2年から6年までを計画期間とした第2期子ども・子育て支援事業計

画を今年度中に策定することとしています。この子ども・子育て支援事業計画とは、子ども・子育て支援法第61条に基づき策定するもので、教育、保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保、その他、子ども・子育て支援法に基づく業務の円滑な実施に関する計画を定めることとなっております。現在の計画は、令和元年度までとなっております。今年度中に次期計画を策定するに当たりまして、市民の子育てに関する生活実態や意見、要望を把握するために、平成30年度にニーズ調査を実施いたしました。調査結果がまとまりましたので、先日、委員の皆様方には議会の連絡ボックスのほうへ、この白い太い冊子でございますが、入れさせていただいていると思います。ごらんいただければと思います。

このニーズ調査の結果をもとに、子ども・子育て会議で審議をしていただきながら計画策定をしまっていることとなっております。

次に、備前市病児・病後児保育事業の開始についてでございます。

市立吉永病院にて開設予定で進めておりました病児・病後児保育事業でございますが、準備が整いまして、6月1日から開設することとなりました。資料としてお配りしているチラシに大体的な内容は掲載しておりますので、ごらんください。

「広報びぜん」6月号やホームページ、びぜんn a v i 等でお知らせし、現在の就園児、小学生には学校、園を通じてチラシを配布する予定としております。また、岡山県病児保育事業実施施設の相互利用に関する協定を締結している県内の17市町が利用可能となりますので、和気町、赤磐市など病児保育施設を持たない近隣の市町に周知を図り、利用促進に努めてまいりたいと考えております。

○波多野幼児教育課長 幼児教育課より香登認定こども園の増築計画案のほうが集まりましたので、報告いたします。

現在、香登認定こども園は遊戯室に5歳の子が20人いる状態で、30年度補正予算のほうで議決いただきまして、仮設の建設に間もなく入ることになっております。ただし、遊戯室はあきませんが、今職員室の横にあります保育室に1歳と2歳の子供が13人混合クラスで、ほとんどスペースのほうもぎゅうぎゅう詰めの状態であります。また、香登認定こども園は1歳、2歳の子供のスペースがないために待機児童が発生しているという現状があります。そこで、この図面のとおり、職員室の西隣に1歳、2歳の保育室を1つずつ増設する計画のほうを考えました。また、これによりまして、13人の1歳と2歳の子供をそれぞれの保育室に分散することによりまして、最大1歳、2歳、合わせて7人は入れるようなスペースになっております。

それとあわせて、香登認定こども園の職員室はもともと職員が6人しか座れない構造になっておりまして、今現在保育事業の高まりによりまして、職員が13人おります。そこで、職員室の横の保育室をこのように1歳、2歳の部屋を増設することによりまして、職員室を広げることが可能になります。最大で13人の座れる席等を確保いたしまして、職員の勤務状態の改善にもこの計画案で諮りたいというふうに思っております。この計画案、それから予算につきまして

は、本議会のほうに提出予定にしております。

○石原備前病院事務長 備前さつき苑から1件、公用車の追突事故被害について報告させていただきます。

先週の5月22日水曜日午後4時半ごろ、さつき苑のデイケア御利用者2名の方を公用車にて御自宅にお送りする最中、場所は備前市浦伊部地内、馬場川にかかる岸本橋を南下しようとして国道250号上にて右折のため停車待機中、後方から追突されたものです。当方車両は後部荷台部分が大きくへこみ、相手車両は右前方部分、ヘッドライトを中心に損壊している状況です。車両はともに軽四自動車です。事故の原因は、相手車両運転手の脇見運転による前方不注意。事故直前、左前方の通行者に注意をとられての脇見運転であったということを確認しております。当方車両は、職員が運転をし、御利用者の方2名が助手席と後部座席に乗車しておられました。助手席側には男性、70代半ばの方、後部座席には90代前半女性の方2名になります。

事故後、当方の3名は救急搬送にて備前病院で診察を受け、御利用者2名の方には幸い外傷等はなく、大事には至りませんでした。その後、当日速やかに御自宅にお送りをいたしまして、改めて私ども事務長、事務次長、看護師長とともに御自宅をそれぞれ訪問し、御家族の方にもお伺いをし、説明をさせていただいております。その2名の方におかれましては、事故の翌々日には通常どおりデイケアを御利用されておられます。その後も症状に応じて備前病院を受診していただくなど、御家族様を含め、引き続き細やかな対応に努めているところでございます。

また、当方車両を運転しておりましたさつき苑の職員は、ハンドル部分で頭部を打ち、眼鏡を破損、眉間部分を裂傷し、いわゆるむち打ち等の症状も訴えており、通院にて治療を受けている状況です。相手車両の運転手の方、お一人ですが、受診を勧めておりましたが、固辞されており、その後、外傷等はないとの旨を伺っております。

現在、保険会社を通じ、交渉を進めているところでございます。

改めまして、職員には交通安全意識の向上、適切な事後対応について再度確認を徹底しているところであり、今後もより安全により安心して御利用いただきますよう、職員一丸となって努めていく所存でございます。

○中西委員長 これで報告事項は終わるわけですが、御説明いただいた報告事項について質疑がある方の発言を許可いたします。

○守井委員 香登の認定こども園の増築計画なんですけど、狭い敷地の中で苦勞して配置するような感じになっとんなんですけど、職員室西側が駐車場みたいになっとった場所に建物を建てるようなことなんだろうけど、裏のほうとか、防災上は特に問題はないのかなという感じがするんです。火事があったときの進入路とかというのが全然とれんような状況になると思うんですよ。その辺は大丈夫ですか。

○波多野幼児教育課長 委員御指摘のとおり、職員室横の駐車スペースのほうが狭くなる嫌いはございますが、現在、職員は休園中の香登幼稚園駐車場を利用しております、この駐車場スペ

ースのほうはあけております。ですので、当然危機管理上の進入路プラス給食の食材の進入路も同時に確保する必要がございますので、その確保及び駐車スペースは保ったまま増築できるというふうに考えております。

○**守井委員** 最適であればやむを得ないと思いますけれども、本当にこれでいいのか再検討をして。例えば、裏側を買収して、広く土地を取得してやれるような状況になればそれにこしたことはないと思うんで、再度、詳細に検討していただいたらと思います。いかがですか。

○**波多野幼児教育課長** 仮設の増築ではございますが、当然建築確認及び消防法上の確認もした上で行っていくこととなります。また、委員御提案の駐車スペースにつきましては、今後の検討課題とさせていただきたいと思います。

○**星野委員** 生活交通チケットの利用拡大についてですが、周知方法としてどのようなことを考えられているのか、お教えてください。

○**杉田市民協働課長** 「広報びぜん」での広報活動、あるいはバス内での掲示等を予定いたしております。

○**星野委員** 先ほども課長が言われましたけど、ぜひ宇野バスの利用者の拠点となる施設、備前病院内に掲示してもらおうであったり、片上のバス停、待合所、商業施設は張らせてくれるかどうかちょっとわからないですけど、そういうところにもぜひ張り紙をして周知をしてほしいと思いますが、いかがでしょうか。

○**杉田市民協働課長** 御意見ありがとうございます。そのようにさせていただきたいと思っております。

○**中西委員長** ほかにございませんでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、これで報告事項を終わります。

報告事項のみの説明員の方につきましては御退席をいただいて結構であります。

***** 福祉行政についての調査研究 *****

○**中西委員長** 次に、調査研究事項に移ります。

福祉行政についての調査研究を行います。

本日は、丸尾社会福祉課長が御欠席となっておりますので、山本保健福祉部長より和気老人ホーム組合からの脱退について、4月11日の全員協議会以降の状況を御説明願います。

○**山本保健福祉部長** それでは、和気老人ホーム組合からの脱退について御報告をいたします。

4月11日開催の全員協議会におきまして、市として今後脱退に向けての協議を和気町、赤磐市と進めていくことに議員の皆様の同意が得られたことを受けまして、4月17日付で和気老人ホーム組合から脱退したい旨の文書を市長、議長連名で組合に提出をいたしました。文書の提出に伴いまして、5月14日に担当課長会議が開催されましたので、会議の概要を簡単に報告をさせていただきます。

担当課長会議という名前ですが、備前市の脱退問題がございますので、当面は各市町とも担当部長も出席することといたしております。和気町、赤磐市ともに部長、課長が異動でかわり、老人ホーム組合のトップであります施設長もかわったということで、今回の会議はこれまでの正副管理者会議や担当課長会議の経過を組合施設長が説明をされ、再確認をすることになりました。

正副管理者会議では、備前市が脱退することについての白紙撤回も含めて協議をしてほしいという旨の発言があるが、そういうことで協議を進めていけばよいのかといった質問がございましたが、備前市としましては和気町さん、赤磐市さんからの御要望があったように、市長、議長連名で脱退届を提出したわけですから、脱退をあくまで前提として協議をしてもらいたい、金銭的な負担を幾らかさせてもらうということで円満な脱退をさせてもらいたい、できればどの程度の負担で和気町、赤磐市さんが希望されるのか、次回の会議に提示をしてもらいたいといったような発言をさせていただきました。次回の会議につきましては、7月上旬に開催することを取り決めをいたしております。

○**中西委員長** 説明が終わりましたが、質疑ある方の発言を許可いたします。

○**守井委員** この問題は、和気老人ホーム組合のほうでしっかりいろんな議論をやってほしいと思うんですよ。本来は組合の中で終わるべきだということを考えて対応しなければならない問題だろうと思うんですよ。それを備前市自体へ置きかえ、同意とはいいながら、それは議決ではないわけですから、その点は考え違いをしないように行動してほしいと思うんです。全員協議会で同意はしたけれども、議決でそれを認めたわけではないので、その点は重々酌量していただいて、円満であればいいことではないんですけれども、地域が連携しながらやっていかなければいけない時代に入っておるんで、私はお互い協力し合いながらやっていくのが本来の地域を発展させるため、協力しながら進んでいく姿ではないのかなと思ってます。その点、老人ホーム組合の議会の中でしっかりもんでいただきたいというふうには提案だけしておきます。いかがでしょうか。

○**山本保健福祉部長** 我々ももちろん円満な解決に向けて最大限の努力をしていこうと思っておりますし、備前市からも組合議会の議員として何名かの方に出させていただいておりますので、議員さんとも連携をとりながら今後対応を検討していきたいと思っております。

○**中西委員長** ほかにございませんでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、以上で福祉行政についての調査研究を終わります。

以上で本日の厚生文教委員会を終了します。

皆さん、どうも御苦労さまでした。

午前9時58分 閉会